

公益社団法人 九 段 平成 25 年度事業計画

本年度は、次の 3 つの分野に分けて事業を行う。

(1) 公益目的事業 1

国民、主として青少年の心身の健全な発達のため、及び千代田区立九段中等教育学校の教育活動への協力のための臨海施設（至大荘）、体育施設（尽性園）の貸与及びその管理・運営、並びにそれに付随する公益目的を達成するために必要な事業。

(2) 公益目的事業 2

青少年の心身の健全な発展のための臨海施設、体育施設を利用した体験学習の提供及び体験学習を主催する団体等への施設の貸与及びその管理・運営、並びにそれに付随する公益目的を達成するために必要な事業。

(3) その他の事業（相互扶助等事業）

第一東京市立中学校、東京都立九段高等学校及び千代田区立九段中等教育学校の同窓会会員とそれに準ずる人達への健全な心身維持のための臨海施設、体育施設の貸与及び管理・運営、並びにそれに付随する事業。

(1) 公益目的事業 1

< 尽性園 >

施設利用の増進をはかり、利用率を高めるために

- (A) 法人のホームページの施設予約情報をより充実させる。
- (B) 青少年教育機関からの要請による施設の貸与を積極的に行う。
- (C) 管理・運営面では施設の整備、グラウンド外の周辺整備、特に老朽化している散水設備、防砂対策を重点施策とする。<(3) その他の事業と共通>

< 至大荘 >

- (A) 千代田区立九段中等教育学校の「至大荘行事」が良好な状態で行えるように支援する。
- (B) ボランティアグループが東京都社会福祉協議会児童部会と共催で行っている、児童養護施設の児童を対象とした臨海体験への積極的な協力。
- (C) 管理・運営面では、昨年度から継続中の気寮・正寮の建て替え完工をし、引き続き長期メンテナンス計画で補修の必要な建物（厨房棟・観海亭・養気閣）の整備を重点施策とする。

(2) 公益目的事業 2

- ・体験学習の提供は、至大荘において小学校高学年を対象とした「親子の臨海体験」を次の点を踏まえ行う。
 - (A) プログラムは専門的な知見を有した者の指導の基に作成する
 - (B) 本法人の地元と千代田区の教育委員会に協力を仰ぐ。
 - (C) 天体観測に加え地層研究を行いプログラムを充実させる。
- ・体験学習を主催する団体への施設の貸与は、引き続き各団体へ働きかけを行う。

(3) その他の事業

- (A) 尽性園では、施設の空き情報を的確に提供し利用し易くする。
- (B) 至大荘では、夏の利用可能状況を早めに公開し7月上旬には申込受付を開始する。
- (C) 利用料金に関しては従来同様の設定を心がける。

なお、施設の管理・運営面は3つの事業に共通しており、費用額を利用人員見込みに基づき、原則として次のように按分する。

《全体の比率》

	公益目的事業1	公益目的事業2	その他の事業
比率	96%	1%	3%

《尽性園・至大荘別の比率》

	公益目的事業1	公益目的事業2	その他の事業
尽性園	99%	0%	1%
至大荘	71%	7%	22%

平成 25 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(自：平成 25 年 4 月 1 日 至：平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借入の予定……………なし

(2) 設備投資の見込みについて

当年度における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定

設備投資の予定		✓ あり	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
公 1, 2 他 1	至大荘 正寮・気寮 建替え	30,000,000 円	減価償却引当預金の 取崩し
公 1, 2 他 1			
公 1, 2 他 1			